

TPP大筋合意見送り 交渉継続「油断できない」

2015年8月1日



交渉会場近くのホテルに入る飛田会長（右）と万歳会長（日本時間1日午前、米ハワイ州ラハイナ）

交渉会場周辺で合意見送りの一報を受けた飛田稔章JICA道中央会会長に安堵（あんど）の表情はなく、「今回合意が見送られただけで、問題が解決したわけではない。農業を守るため、関

【米・ハワイ州】環太平洋連携協定（TPP）は大筋合意とならなかったが、閣僚会合が開かれている米ハワイ州マウイ島入りしている十勝関係者は交渉継続に警戒感を強めている。

交渉会場周辺で合意

税の維持をこれまで以上に力を入れて訴えていく」と語った。

飛田会長は共同会見に先立つ31日午前11時半（日本時間8月1日午前6時半）、JICA全中の万歳章会長と自民党議員団から共同会見延期について説明を受けた。JICA全中として、改めて妥協せず粘り強い交渉を続けることを日本の交渉団に伝えるよう求め、共同会見後に再度説明の場が設けられる見込み。

十勝地区農協組合長会の有塚利宣会長は「途上国と先進国の隔たりが見送りの主な要因。日米2国間で対立しているという話は聞こえてこず、危なかった。交渉が決裂したわけではなく、継続。今月中に再交渉するとも聞いており、油断できない」と警戒している。

TPP大筋合意見通し 十勝、与野党とも怒り

2015年10月5日

TPP交渉の経過

2006年	シンガポール、NZ、チリ、ブルネイから成る自由貿易協定「P4協定」が発効
2008年9月	米国が交渉開始意図表明
2010年3月	米、豪、ペルー、ベトナムを加え8カ国で交渉開始
10月	マレーシアが交渉参加。計9カ国に。
2011年11月	日本、カナダ、メキシコが交渉参加に向けた協議開始の意向表明
2012年10月	メキシコ、カナダが交渉参加。計11カ国に
2013年7月	日本が交渉参加。計12カ国に
12月	閣僚会合（シンガポール）
2014年11月	閣僚会合（中国・北京）
2015年6月	米大統領貿易促進権限（TPA）法成立
7月	閣僚会議（米国・ハワイ）
10月	閣僚会議（米国・アトランタ）大筋合意が成立

環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意の見通しが立ったことに対し、十勝管内の政党関係者からは野党はもちろん、与党関係者からも米や麦、乳製品など農産物の重要5項目の関税を維持するとして国会決議に反すると怒りの声が上がっている。

「国会決議守られず」

自民党道11支部の大谷亨幹事長（道議）は「甘利明TPP担当相は次から次へと交渉カードを切った印象がある。小麦にしても牛肉にしても、なぜあそこまでしないといけいないのか」と日本側の譲歩の姿勢を批判。「豪州との経済連携協定（EPA）をはるかに超える内容で、国会決議を守ったとはとても言えない。話にならない」と怒りをあらわにする。

公明党十勝総支部の大竹口武光総支部長（帯広市議）も「重要5項目の関税は何としても守ることが交渉の前提だった。今の段階では交渉結果の内容が分からない」と、しっかりとした説明を求める。

野党の民主党道第11区総支部の石川知裕代表代理は「政府・自民は重要5項目を絶対を守ると言っていたが、大幅譲歩したことは公

約違反で許しがたい。乳製品をはじめ、十勝の関連産業に大きな影響を及ぼすのは避けられない」とし、「しっかりした対策を講じるよう運動を展開したい」と話した。

新党大地の鈴木宗男代表は「何の情報開示も説明もなく、ただ合意ありきで、国民を無視している。国会決議を頭に入れない交渉は国民不在のやり方だ。日本の主張が通らないならば脱退するとの約束はどうなったのか」と憤る。

共産党十勝地区委員会の佐藤糸江委員長は「絶対に合意してはならない。国会決議を踏みにじり、国民の意思を無視するもの」と批判した。

社民党十勝支部連合の高橋利勝幹事長（本別町議）は「医療や労働などいろいろな分野に影響があり、地方切り捨てになる。政府は地方創生と言いながら、大幅譲歩によるTPP大筋合意は政策的に矛盾する」と語る。